

経営比較分析表（令和5年度決算）

香川県 普通寺市

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	-	2
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T ・ F I P 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和16年6月30日/令和17年3月31日 ぜんつうし太陽光発電所/ぜんつう	令和16年6月30日/令和17年3月31日 ぜんつうし太陽光発電所/ぜんつう	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
四国電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R01	R02	R03	R04	R05
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	3,116	3,256	3,090	3,061	2,876
合計	3,116	3,256	3,090	3,061	2,876

	F I T ・ F I P 以外	F I T ・ F I P	合計
年間電灯電力料収入（千円）	-	103,536	103,536

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

基金への積立の有無…有
目的：市民の安心・安全に資する事業等の推進及び発電所の維持管理等の経費に充てる 18,203千円
一般会計への繰出しの有無…有
目的：防犯灯等LED照明管理事業 20,800千円
※太陽光発電事業基金の一部を取り崩し、一般会計に繰り出した後、防犯灯等LED照明管理事業に活用
その他の有無…有
目的：翌年度への繰越 1,716千円

分析欄

1. 経営の状況について

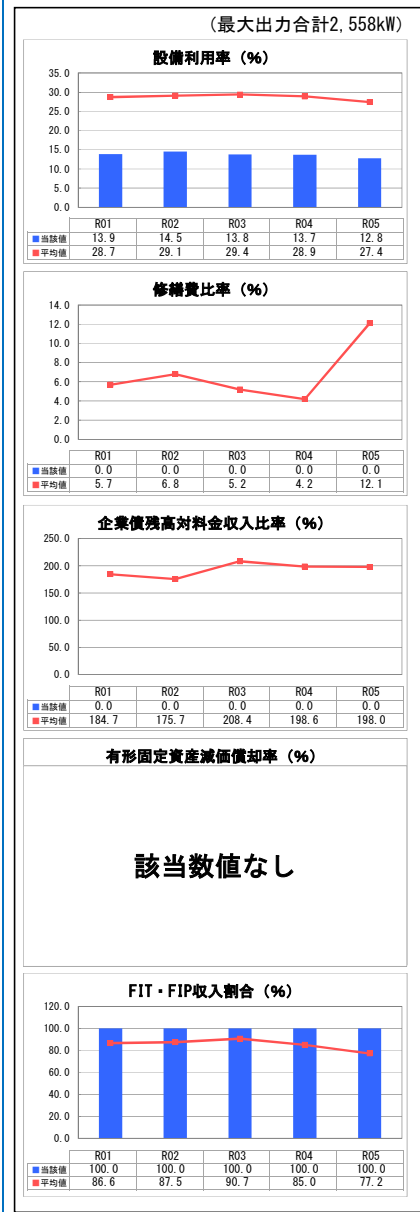
令和5年度は、前年度と比較して、天候不良や出力制御等の影響により発電量が大きく減少した。その結果、売電収入は約6%の減少となった。

1. 経営の状況

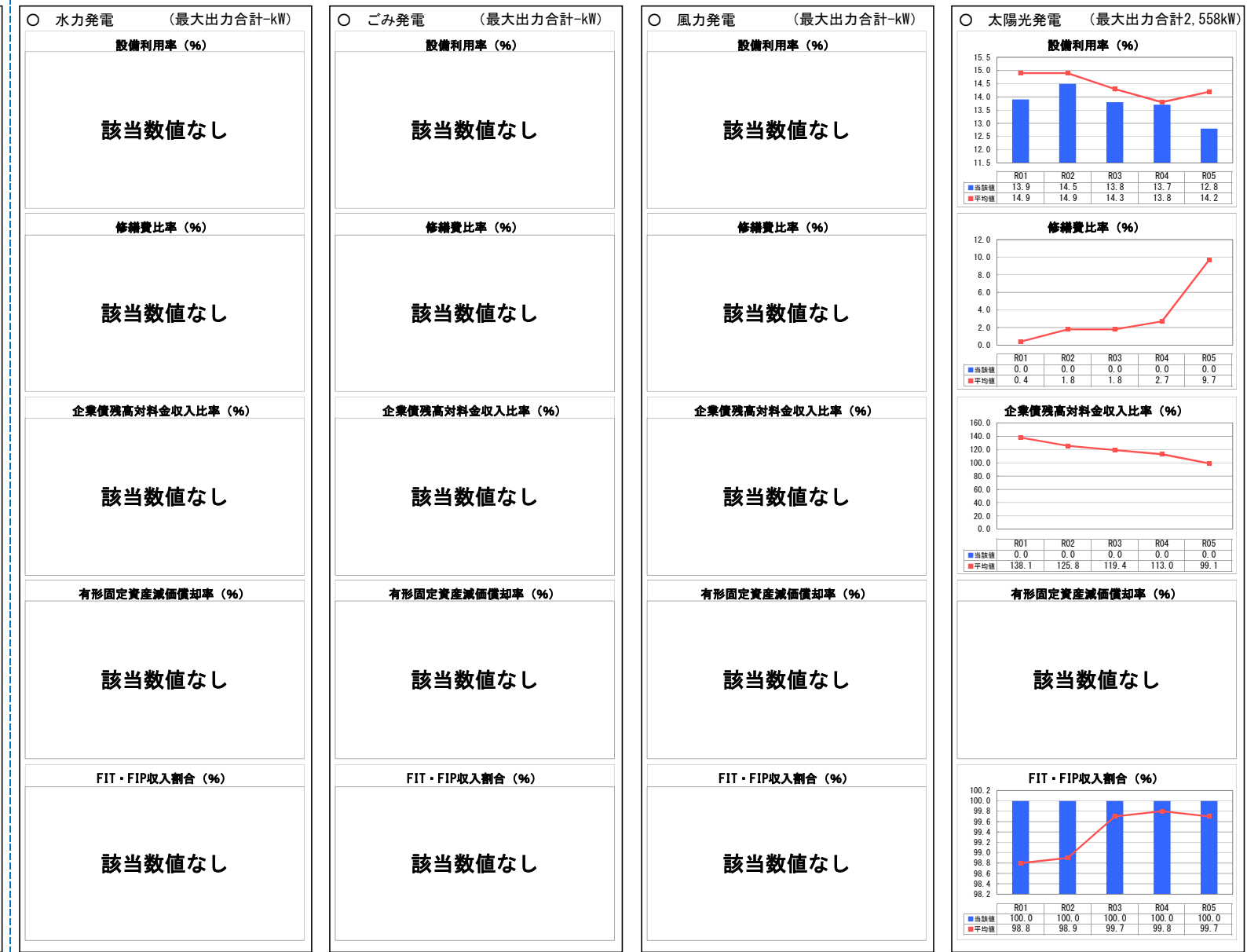


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

普通寺市の電気事業の収入については、基金利子や前年度繰越金等もあるものの、FITによる売電収入が大半となっている。FIT終了後については、事業の廃止を視野に入れ、撤去・廃棄費用として24,300千円/箇所を見込み、太陽光発電施設リース契約の中で積立てを行っている。
なお、売電収入は前年度より減少しているが、その要因については、天候状況や四国電力（株）による出力制御のほか、太陽光パネルの劣化（年0.5%の発電量減少を想定）の影響と考えられる。

全体総括

経営状況は概ね良好であるが、令和5年度においても、四国電力（株）による出力制御が頻繁に行われている。
今後も春秋シーズンを中心に、令和5年度以上の出力制御が実施されることが考えられるが、一時的に売電収入が下がることは予想されるものの、収支が赤字になることはないと考えられる。

※ 令和1年度から令和5年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和5年度の団体数を基に平均値を算出しています。